明治四十一年十二月三日第三種郵便物認可　（特料）　月曜及び祭日の翌日休刊　明治四十三年八月二十日（土曜日）　第四百八十七號（一）

京城新報

雜報

鯖漁會社の設立

韓國各海岸に於ける鯖の漁は有名にして品質の良好なる多く其比を見ざる所なるが目下內地鳥取縣附近に於て漁獲せらるゝ鯖漁は之れを鹽漬として盛んに米國に輸出されつゝあり百斤袋共に付四圓六十錢宛の純益を得つゝあるより若し韓國の鯖を製造し北米に輸出するに於ては四圓以上の純利を得る事容易なるを以て之れが精細なる調査を遂げたる上大資本金を投じて韓國鯖漁業株式會社なるものを設立し本社を釜山に支社出張所を巨濟島南山其他樞要の地に置くの計畫東京及び釜山人士の一部に唱道されつゝありと

釜山近海の漁況

每年七八の兩月は盂蘭盆節句に前後するを以て漁業者多く歸國すれば漁事閑散の時期なり、然れども四時釜山を根據とする打瀨網延繩、手繰網等の漁業者は引續き從業せり打瀨網は去る六月中遠く南海島方面に出漁したるもの多かりしも目下は何れも當地に引き揚げ居れり其成績を聞くに一回の出漁能く二十貫乃至三十貫を漁獲し其重なるものは鯛にして頃日四圓乃至七圓の相場なるを以て相當の水揚をなしつゝあり手繰網は天候次第にて晝夜作業し一回に四圓乃至八圓位の漁獲あり漁場は釜山灣內及灣口なれば從つて出漁に便にして割合よき漁業なりと云ふ鰮地曳網は去る六月中天候不良の爲め空しく漁獲物を腐敗せしめたるもの尠からず中には數百圓の煎子を全く腐敗に歸せしめたるものあり然れども七月に入り天候恢復し鰮の來遊夥しく日々煎子三四十貫を製造せりと云ふ以上の如く本月天候平穩なりしを以て一般漁業好況を呈せり又本年一月以來鯖流網に從事せし若狹丸は本月に入て鯖流網を試せしに鯖は未だ漁獲少くわし、すうだかかつを、すじかつを等相當の漁獲あり三四回の出漁約二百圓を得たり、而して彼れは網目の小なる鯖流網にてすじかつをの大なるもの數百尾を漁獲したるにあり、之れを以つて察する該漁群は餘程のものゝ如く即ち流網漁業者としては特に一考すべき價値あるべしと

●教育幻燈會好影響　安州普通學校に於て過般三日間に亘り學校教育幻燈會を開催し附近各私立學校各面長、學務委員各官衙、守備隊憲兵隊日本學校組合長等に案內狀を發し一般邑民に對しては學校若くは各社に掌の開會の內容を揭示して來會を勸誘したるに來會者は私立學校職員、學務委員官吏學校組合長學徒父兄一般區民上下を通じて無慮三千人に達し何れも熱心に觀覽聽講し稀有の盛會なりき因に映畫は家庭、衞生、天文、自然現象、遠洋漁業人體衞生等にして尙は餘興として蓄音器を使用し特に傍島教育主任出張臨席し一般人民に對し普通學校に對する一般人の心得を講話し且つ種々の便宜を得たり本會の開會が同地方民の進步に貢獻したるは明なる事實にして此の影響にや遠近より老弱男女相連れて學校を參觀するもの次第に增加しつゝありと

地方通信

▲平壤通信

▲農銀管下經濟狀態　平安農工銀行各支店管內の最近一般經濟狀況を聞くに博川支店管下は目下農家の繁忙期に際し昨年來不景氣の爲め金廻り惡く且民間購買力乏しき結果市場の取引兎角活潑ならず特に資金の最も多額を要する紡織業の如きは昨年の通り昨年休止の姿なり附近金鑛に仕向けらるゝ米粟等の仕入ありて小額の資金は運轉せらるゝも近來市況更に引立たず金融常に逼迫狀態を保ち金利依然として變せず今後一二ケ月經過し農業一時閑散の時機に至り紡織の放資を始むる時か又は秋季收穫の狀況により商人雜穀を手放し一方之が仕入を續行する時かに至らざれば相當資金の需要起らざるべし鎭南浦支店管下は目下俗に謂ゆる夏結氷の閑散期に當り且つ附近の重要輸入品たる麥類不作のため資金の需要至て振はざるも市況一般尙は活氣を失はず之れ一に鐵道其他諸般の工事あるが爲にして一般經濟界に於ける資金の需要は來月中旬以降に盛んとなる可く昨今牛皮買入の資金に少々の呼聲あり霖雨期に際して野積米は保持上に支障を生じ夫々處分を終り目下稅關附近在荷數は極めて僅少なり漁業も又雨期のため收穫少なく市價騰貴し鯛十貫目二十圓以上の呼値なり附近鑛山も雨のために採掘困難にして各鑛主に於て見越貯鑛不如意のもの多し寧邊支店管下は例年の如く一般に金融澁滯せるも金鑛特に砂金採掘業は雨のために毫も影響を享くる事なく現に七月中は其資金一萬二千餘圓を算したるが本月も恐らく此位の融通ある可く此他牛皮の輸出相應にあり補助貨一圓紙幣の流通また佳良にして七月中散布高七八千圓に達したり海州支店管下も金融頗る緩漫にして小麥の先貸買あり米穀一體に底堅き氣配なるも思惑買をなすもの少なく金利下向きなり農作は收穫例年に比し饒多の見込にして漁獲も相應にあり紙幣補助貨の流通亦良好なり沙里院支店管下も亦金融緩慢なれども麥類の出廻時季に近く弗々麥豆等の京義線にて義州博川方面に出向くもありて資金需要の氣配あり

▲夜學會設立計畫　平壤實業青年會にては實業補習夜學會設立の計畫あり委員選定の上種々調査中なるが遲くも來月中旬より開設の運びとなる可し科目は英語、簿記、韓語の三科とし夫々專門の講師を招聘し修養程度は尋常小學卒業以上定員は五十名會費は月額三十錢とし近々細則發表の上會員募集をなすべしと尙ほ同會にては各種店員の品行方正にして勤續期間長きものに對し表彰の計畫あり三年、五年、七年、十年、十五年等その繼續年限に應じ金銀牌以下賞狀を附與すべしと聞く會場は未定なるも多分民團役所樓上を以て會場に充つることゝなるべし

▲大聖教會平壤支部　本派本願寺派が京城に於て大聖教會を設立し韓人間の布教に從事し既に二千餘人の信徒を有し聽て平壤にも支部を設くべく寄々協議中なりとは曾て報ずる所なりしが今回愈々其筋の厚意により布教所として外川坊經理院を借受くる事となり且韓人中布教希望者少からざるを以て近々當事者相會し布教の方針に就て協議する所あるべし

▲秋風錄　下らない話だがチト變つてゐるから話しをするが日本國中で最も大きな足袋を穿くのは相撲取りたること勿論ヂヤ▲どの位大きいかと聞いて見ると梅ケ谷十二文半、太刀山が十二文、荒岩が十一文半、常陸の大將が十一文だといふ▲處がこれに拮抗する足袋を穿く元老名士がある松方侯、松尾日銀、雨敬、益田孝の四人は常陸と同樣十一文だこれを下ると十文半を穿く田中伯、芳川伯、河野廣中、園田孝吉などがある▲乃木大將、有地品之允、池田謙三、高田早苗などは普通で十文の足袋だ桂首相、東郷大將などは軍人であるから足袋も大きいだらうと思つたら九文七分大倉の安養寺翁と同型である▲夫人連で一番大いのが首相夫人かな子で九文七分とは御亭主に一歩も讓らないとは恐れ入る樺山大將、大倉喜八郎、末松謙澄等の夫人連は九文を穿く金子堅太郎夫人は八文七分といふので生れが違ひますなどゝ仰せられるさうな。



講談

大岡政談　越後傳吉

第五十二回　旭堂南陵講

今も昔も同じ事、名主或は村長が惡いと此奴を失敗さうといふについて村方が運動する、昔も隨分遣つたものでございます、何ういふ事をするかといふも運動の仕方が違ふ、今のやうに要路の役人へその事情を上申に行くなんて事は仕ない老寡が名主位ですから風說を立てさす、新田の虎ン平なんざア先達になつて、若い奴が酒の二升も振舞ふて貰ふて、三四人食ひ醉ふた勢ひだ高田の城下へ歩つて參り、城の追手先き、御家老方諸役人衆が登城しやうといふ所で大きな聲で話しをする　甲『オイ』乙『あんだい』甲『汝ア寶田村か』乙『乃公は寶田村だ』甲『乃公が所の名主はな飛んでもねへ名主だ、乃公が所の名主はなこれ泥棒だ、マア乃公が名主の庄左衛門といふ奴はな七箇村の大庄屋して居る奴だが、傳吉といふ人の金子三百兩、倅の庄藏といふのは探偵で、二人親子が腹合して騙りやアがつたので』乙『爾うだよ乃公が所の村には泥棒と騙取が名主と探偵だ、飛んでもねへ乃公が村は宛然暗黑だい』甲『暗黑だい名主がハア泥棒で倅が騙取だ冥上に密通をしやアがる』乙『仕樣がねへ、駄目なこんだ、こんな者が名主や探偵とは……』家老方中老方の登城をする前をも憚らず大きな聲で話しをする夫が每日の事だから、是を聞いて御家老方中老方の連中が寄ると　甲『何うぢやつた、今日登城掛に是々の事を百姓が高聲で話して居つた』乙『拙者も承はつた』丙『我々も承はつた』甲『寶田村はナカ〳〵紊れて居ると見ゆるな、殊に名主が泥棒ぢや、探偵を勤める倅が騙取などゝいふは容易ならぬ事、郡奉行を以て一通り取調べて見るが宜からう』是をその頭に訴訟をすると稱へました、早速家老當番が郡奉行の黑崎伴右衛門を呼び出す、この黑崎伴右衛門といふ人は決して惡人ではない、名主の庄左衛門の娘をば女房にいたして夫婦の間に子供が二人、疾うから庄左衛門の傳吉に對する惡事は聞いても居るから、早く退職をさしてやりたいと思ふが、自分が爲には女房の親與、それとはなし、れ前は大分評判が惡いから、役を引いたら何うぢや、庄藏も辭たら何うぢやと云つては居るのだが、二人はイツカな引く樣子もないので、內々困つて居た折柄御家老の御召し　家『伴右衛門』伴『ハヽツ』家『其方支配下寶田村名主某伴と共に惡事を致したる趣、未だ判然として證據のあるではないが風說である、能く〳〵取調べをいたせ、物の長たるべき者に惡事があればその一箇村の紊亂ぢや』伴『恐れ入り奉ります』伴右衛門何うも仕方がない、自分の支配下に爾ういふことがあつては郡奉行の落度になる、ソコで庄左衛門に庄藏の二人を呼んで　伴『サアもう不可ないぞよ、れ前達の傳吉に對することは最早御家老方の耳にも這入つた、長く勤めて居れば據所なく、內密で濟んで居ることを私が取立てゝ調べねばならぬ、現在の頭に繩を打たねばならぬから速かに退役しなさい』モウ此所まで來たんですから、庄左衛門庄藏是非なく退役といふ事に定まりました、この二人が役を引くといふ事になると後の名主を作らねばならぬ、何しろ七ケ村の大名主、サア誰が宜からう〳〵と評議の結果、これは舊來の法で後役名主は目安箱といふ物をば七ケ村へ持つて廻ると、村々の者が皆此箱へ誰某といふ名前を書いて無記名で役票をする、その箱がズーツと廻りました、郡奉行所で一同村役が立會で開く、イヤ大勢の百姓が後役名主は誰方だらうと皆投票をしてありますから詰掛けて居るその前で、大きな聲で讀上げて點數を取る〇『エ、寶田村傳吉名主、エ、寶田村傳吉樣、エ、寶田村傳吉殿……』十人が十人とも皆一緒、十目の見るところ十指の指さすところ殘らず寶田村傳吉、その中に只た獨り新田の虎ン平といふのが出た、驚いたのは百姓　甲『ヤイマア世の中には馬鹿な事を書いて入れる奴がゐるでねへか、新田の虎ン平野郎が選入つたぞ、誰が虎ン平入れたやい、彼の野郎金さへなければ己れの田地も碌にないで、喧嘩の好きな野郎だ、那な者を誰が入れたやい』虎『乃公が入れたい』皆一同が見ると當人の虎ン平が自分の名前を書いて入れたのですから一同『己れが入れやアがつたな、此奴ア一番に面白いわい』とドッと笑ひました

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年　紀元二千五百七十年
本紙定價　一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵稅一ヶ月十三錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）
廣告料金　▲五號活字十七字詰一行一回金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人　高木久馬太
印刷人　松久禪一郎
發行所　京城新報社　京城西署西小門通（電話六六三）





東京電報

▲**水害模樣伏奏** 日野西侍從は毎日東京府下の水害を巡視しつゝあるが本日を以て巡視を終り委細を闕下に伏奏したり(十九日)

▲**東北滊船連絡** 上等發青森行滊車は當分開通の見込なきを以て横濱青森間の滊車連絡を開始したり(同上)

▲**南極探險延期** 南極探險隊の出發は無期延期となれり(同上)

▲**大統領水害見舞** 佛國大統領及び巴里市長より本日も水害見舞の電報外務省へ達したり(同上)

▲**救助物無賃輸送** 鐵道院にては水難救助の爲めにする物資の無賃輸送を開始したり(同上)

北京電報

▲**軍機大臣更迭** 清國軍機大臣世續、吳郁生は職を免ぜられ、後任として毓朗、徐世昌任命せられたるが唐紹儀は郵傳部尚書に任ぜらる(十八日)

紐育電報

▲**智利大統領訃** 智利共和國大統領マウント氏は逝去されたり(十八日)

雜報

日韓醤油の比較

日本醤油と韓國醤油の各地に於ける需要の狀況を見るに醤油の消費最も多き京城仁川地方にては韓國產優勢にして消費料の約七割を占め在留日本人の增加に伴ひ需要は益增進し日本產輸入品は優等品に於て增加せるも普通品は寧ろ減退の傾向を呈し同地以北平壤鎭南浦新義州方面に於ては大部分韓國產需要せられ日本產は漸次市場より驅逐せらるゝの狀況なり次に群山に於ては京仁の產品賣行よく木浦にても京仁及木浦產需要增加して輸入品は減退の趨勢なり馬山は輸入品の賣行あるも其附近は馬山釀造品を用ひ釜山に於ては日本品未だ需要多きも附近に於ける同港商業圏內は專ら釜山產の需要多きが如し北韓方面に於ては元山は釜山京仁產の移入及同地產を用ふるもの漸次增加せるも未だ輸入品に及ばざること遠し城津淸津其他の北韓各地に於ては釀造者なく輸入品は地方の發展と共に需要益々盛んに釜山地方より同地方產の移入ありと雖輸入額に比し遙かに少量なり即釜山及北韓方面に於ては日本產の需要盛況にして其他の地方に於ては韓國釀造品の賣行盛なり昨年度輸入額は總額八千三百餘石にして韓國產は現時概算一万五千七百餘石なるを以て生產額は輸入額の殆んど二倍に達す而して輸入額は戰時激增したるも其後漸減の趨向を呈し韓國の釀造額は戰後著しく增加し今後も益增進の趨勢を示せり如斯韓國產が國內各地の競爭に於て優勢を示す所以は概して其生產費の低廉にして地理上優勝の地位にあるが爲めなり凡そ生產費は諸種の事由により同じからざるを以て之が比較極めて困難なるも茲に仁川に於ける某釀造家の計算と輸入醤油の主產地たる總州野田に於ける一釀造家の生產費を對照するに原料百石に對し仁川は二千二百二十七圓にして野田は二千七百三十四圓八十錢なり仁川に於ては大豆小麥食鹽著しく低廉なるも加味費製造費燃料利息容器等甚だ多額なり日本產は輸出の際造石稅の拂戾を受るも韓國に於て販賣するには輸入稅及運賃に於て尠からざる負擔を爲さゞる可らざる故に製品の性質同じければ日本產は韓國產と競爭上甚だしく不利益なり之れ京仁地方に於て日本產下等品が輸入減少の傾向ある所以なるべし其他韓國各地の生產費及釀造業振不振の事由を考察するに釜山は原料大豆小麥仁川地方に比し價格大差なく鹽は百斤に付二三十錢方高價なるも砂糖其他の味付費及燃料等稍低廉に一方民團造稅の負擔あるも地方に於て容器其他日本よりの輸入材料に於て利便多く結局仁川地方に於てすると大なる差異を見ざるが如し而も日本品尚賣行よし元山は釀造上釜山に比し不利の點多きも京仁に比し輸送の便多きによるべし即原料小麥鹽砂糖及燃料器具等高價にして寒氣の爲め醱酵の度低く幾分製品の風味を害する虞なり是れ同地方の釀造業の發達遲々として振はず交通不便にして運賃多額を要するに拘はらず多大の輸入及移入ある所以なるが如し鎭南浦及平壤地方は製造器具樽代其他の諸經費に稍多額を要するも原料の價格即ち大豆小麥食鹽共に仁川に比し概して低廉なるを以て競爭上尠からざる利益あり之れ同地方に於ける輸入品漸次減少の主因たり群山は麥大豆共に仁川に比し尚低廉にして品質不適當ならざるも供給の範圍狹少にして大規模に經營するもの無き爲め仁川地方よりの移入多し木浦は麥大豆共に地方の產尠く仁川方面に求むるの狀況にして釀造上日本に比し有利にして製品は普通の日本產に比し遜色なきものを釀造するを得近年釀造業勃興し各地に輸入品を壓するの傾向あるは偶然に非ず然れども韓國產醤油と競爭して苦境に立つものは日本產中等以下のものにして優等品に至つては韓國產の未だ容易に企及すべからざる者あり至る所其の商標の信用厚く輸入額も逐年增加の傾向あり

內地新聞の押收

警務總監部は左記內地新聞の韓國輸入は治安妨害の虞ありと認め其發賣頒布を禁止し同時に全部之を押收したり

十七日發行報知新聞夕刊十八日發行同紙朝刊十八日發行大阪毎日新聞號外十八日發行同紙同上東京毎日電報同上都新聞同上讀賣新聞同上大阪朝日新聞同上九州日々新聞同上九州毎日新報同上福岡日々新聞同上馬關毎日新聞同上福井新聞

●普通文官受驗心得

第一條 受驗人は試驗委員の命令を遵守すべし

第二條 受驗人は試驗時刻三十分前に試驗場に到着すべし

第三條 受驗人は必ず番號票を携帶すべし

第四條 受驗人は洋服又は袴を着用すべし但草履を用意すべし

第五條 受驗人は左の物件を携帶して試驗室に入るべし 筆硯墨及算盤(可成硯墨の代りに墨壺を用意すべし)

第六條 受驗人は左の物件を携帶して試驗室に入るを得ず 受驗の材料となるべき書籍又は書類

第七條 受驗人は試驗室內に在りて互に言語を交ゆる事を許さず又監督官の承認を得ずして席を離るゝを得ず

第九條 受驗人は特に指定したる場合の外試驗問題に就き質問をする事を得ず

第九條 受驗人一旦答案を出したる上は縱令誤謬ある事を發見するも訂正することを得ず又一旦退席したる時は其試驗時間中再び試驗室に入るを得ず

第十條 答案には一枚毎に番號を記し氏名を記すべからず答案二枚以上なる時は豫め交付する針を以て之れを編綴すべし

某問題に就き答をなし能はざる時は答案用紙に其問題の番號及不能の二字を記載して差出すべし

第十一條 口述試驗の期日及場所は追て公示す

第十二條 筆記試驗に合格したるものにあらざれば口述試驗を受くることを得ず

第十三條 筆記試驗合格者の番號は二十七日午後試驗場に公示す

第十四條 試驗に關し不正の行爲ありたる者は試驗を無效とす

第十五條 試驗場に於て不正の行爲を爲したる者は直ちに退場を命じ試驗を無效とす試驗場に於て試驗委員の命令を肯せざるもの亦同じ

筆記試驗場試驗時間は左の如し

一 京城民團立南大門尋常高等小學校

一 八月廿二日(自午後八時至午後三時廿分)憲法及行政法、讀書、作文

一 同二十三日(同上至午後三時)撰擇科目、筆寫、珠算、歷史

一 同二十四日(自八時至午後〇時二十分)算術、地理

●外人設立の私學校

外人設立私學校に對する取締は一定の成規なく是が取締に關しては當局に於ても頗る難する處なりしが近頃に至り學部の眞意を解し來り英米佛各宗派を通じ同經營の外宣敎師は何れも認可を請ふに至り稍や統一監督の域に達せり元來外人の學校經營は敎育てふ善良なる目的に基くは固よりの事なれども一面に於ては自家勢圏內に子弟を敎育するは布敎上唯一の便宜にして敎育と布敎とは離るべからざる關係を有するものなれば外人の布敎を始めし以來夙に敎育に着手し今や拔くべからざる根柢を有せり外人學校の最も盛なるは平安南道之に亞ぐは南韓地方なり外敎師の新學政に對する意向は今や施政の革新と共に次ぐ敎育に着手するに至れるも吾々は政府に先ち夙に新敎育に着手せり是れ韓國に對する最善の好意なれば學部は吾々に對し相當敬意を表する態度は相當援助さるべきものなりと

●鐵嶺丸發見は絶望

十八日木浦警察署より其の筋に達したる報道によれば鐵嶺丸遭難後は引續き船體及行衛不明者搜索續行中なるが搜索船高知丸は巡查通譯乘込み去る六日午後十時頃大黑山島方面に向け出發同九日大黑山島西北約百二十浬の沖合にて片山覺市及久米籐助の死体二個並に鐵嶺丸の船具品と認むべき空箱及木片を發見收容同十日午前六時頃歸來し更に翌十一日正午同方面へ向け出發死体及船体搜索續行中なりと雖も船体の發見に至りては今尚ほ不明にして之れが搜索を中止せりと云ふ

●實際的人物の養成

官公立普通學校の卒業者は日語修得により解日語者の需要盛なる今日に於ては卒業後直に生業に就き得らるゝの便宜を有すれども今後卒業者の頗々輩出するに從ひ需給相伴はず一面敎育の發展に伴ひ自然高等敎育志望の增加は避くべからざる數ならんも當局は深く本國の弊風に鑑み同卒業者將來に對して直ちに實務に從事する實際的人物養成に努め中等敎育は絶對なる奬勵を行はざる方針なりと

●惡疫流行期の注意

昨年の本月は京龍を通じて虎疫の流行頗る猖獗を極めしが本年は幸ひにして未だ是を聞かざるも各人の注意宜きを得たる點もあらんが昨年の病源は淸國芝罘より傳來したるも本年は南淸に流行せるのみにて南淸及び北韓地方等惡疫の病源地と云ふ土地に於て流行せざるに依る由兎も角個人の衛生を怠らぬ樣充分の注意こそ肝要なり

●地籍報告書十萬通

森林法第十九條により森林私有者は同法施行の日より向ふ三箇年內に農商工部大臣に報告を爲すべく規定し在るが其期限は明年一月二十日までなるを以て昨今同部に接受する報告は日々五百通の多きに達し既に其數十万通を示めせり而して同日までに報告せざる時は總べて國有に歸屬する規定なりと云ふ

●林籍調查審查終了

農商工部の着手せる林籍調查は豫定の如く些の遲滯なく進捗し既に其審查を終了したるを以て目下係員總係にて製圖に着手し居れりと

●門島燈臺霧笛開始

韓國南岸港門島燈臺の霧笛は破損の爲め吹鳴停止中のところ本月十五日より從前の通り吹鳴を開始す

●風紀取締の勵行

警察總監部は漢城風紀の取締を勵行する爲め一昨夜來一大活動を開始せるが尙ほ昨十九日は市內各料理店主を同部に召喚し安角保安課長より嚴重なる注意を與へたりと

●貿易要覽の配布

隆熙三年度に於ける韓國外國貿易要覽は豫て印刷中のところ愈々出來したるを以て關稅局は十九日より諸官衙其他へ配布せりと

●大津代議士入京

國民黨代議士大津淳一郎氏は政況視察として十九日夜入京京城ホテルに投宿したり

●橋本弘氏の入京

報知新聞記者橋本弘氏は十九日夜入京京城ホテル投宿

外人の視たる半島(十二)

KOREAN PENINSULA AS VIEWED BY A FOREIGNER.

一外人記述

▲或日曜日南山公園に奏樂があると聞いて余は同宿の某君と相携へて傍聽に出掛けた、公園とは云へどコヽは南山の一部で格別人工は加へてない、併し自然の松樹は鬱蒼として雅致を示し、空氣は良く、眺望は良く、人工を加へずして公園の資格は備へて居る。

▲小丘の傍ら綠濃らんとする鬱樹に隱れに木造ながら氣の利いた音樂堂が見ゑた、樂堂の附近は聽衆を以て已に塡つて居つた。

▲奏樂者は日本軍隊のバンドだ、バンドマスターの手が揚がると始めに洋曲が奏せられた、次にエチゴヂシと云ふ純粹の日本曲が奏せられた、越後獅子、之を英譯するとぞ、ライオン、オフエチゴプロビンスだ、何だか恐ろしソウな曲名だが其割合には諧附が優美であつた。

▲余は奏樂者の妙技に感服した、而かも此奏樂者が公衆娛樂の爲公務の餘暇を以て義勇的に出奏するものなることを聞いて尙一層深く感服した。

▲聽衆の多くは日本人であつた、併し白衣の韓人も被衣を着けたる韓婦人も中々多く見ゑた、余は日韓人が一團となつて斯くも文明的に日曜日の午後を消すことをば知らなかつた、今實見するに及んで尠なからず驚き且つ會心に思つた、之ならプリンス、イトオの日韓一家說も實現に難からずと思つた。

▲樂果つるの後余は連れの某君と共にリフレシメントを取るべく掛茶屋に入りミエンヘンの杯を擧げてプロヂツトをやつた、某君曰く之れでフランクフオト、ツオセエヂがあつたら亦其上にフローリンが居たらだ、京城も保護統治の蔭で中々近世的の贅澤が云へる樣になつた。

▲微醺を帶び涼味を覺へつゝ小丘に登つた、茲にブロンズの劍形モニユメントがある、瞰下せば京城は一と眼だ、サテ五年前に比して今日の變化は。

▲五年前の京城は一望渾なき藁の海であつた、宮殿の樓門が小島の如く見ゑた、瓦屋根が黑洲の如く見ゑた、サテ五年後の今日は如何、堂々たる洋館、日本館櫛比と迄は行かずとも屈指し得られざるほど建つた、瓦屋根は普通の者となつた、藁屋根は其面積を狹めた、嗚呼物質的文明、其インフリユエンスは僅々五ケ年間に舊都を一變した。

▲而かも余の怪訝に堪ざるは城內烟突の數の五年前に比して今日も尙同じき事だ、製造や工業や其狀態を改めずか、但しは市政府の烟突建造を許さゞる爲か、夫は何れにしても市の烟突を加へざるは生產の消費に後れたる證據だ、余は滯在中に此疑問を解決したいと思ふ。

龍湖島の水產狀況(上)

龍湖島は康翎灣に巡威島の北端に隣り一名を龍威島と稱す瓮津郡南面に屬し周圍一浬餘北端一條の砂州によりて茂島と相連り東康翎半島と相對して港灣をなす港內水深七尋乃至十尋の波浪靜穩船舶の錨泊に適す海軍海圖の所謂巡威島錨地にして黃海道中唯一の良港たり本島に二個の丘陵あり西陵の頂に祭堂を設く此處に樹木を存じ森をなし東陵には數株の松樹散在せるのみ人家は島の稍中央部なる兩丘陵の間及北東岸に在り戶數百十六戶相連りて村落を爲す憲兵分遣所巡查駐在所郵便所朝鮮海水產組合出張所等の設けあり日人八戶其間に居住す三十年前迄は本島近海鯟の漁獲多く又十六七年方迄は支那商船の來往盛にして頗る繁昌したりしも鯟の漁業全く廢れ淸韓間貿易をなす能はざる爲め其跡を絶ちしかば大に衰頹せりと雖も今は春季石首魚の集散地として著はれ又附近の漁業に依りて住民は生計をなす全島耕地なきを以て穀物野菜薪炭等は總て康翎半島より需用す四基の井泉は水質良好ならず且つ秋冬の候は乾涸するを以て對岸なる巡威島より汲み來るものなるが其の水は淸冽にして飮用に適せり同島漁業に關する狀況如左(未完)

●平南線試運轉模樣

平安南道鐵道線路は客ば完成全通せしを以て去る十四日機關車に貨車數輛を連續し試運轉を開始したるに午前九時平壤驛發途中材料の積み下し等を爲し同日午後五時無事鎭南浦に到着したり同地民團に於ては厚意を謝する爲め停車場豫定地に式場を設け鐵道員を招待し立食の宴を催せり當日は同地方の日韓人約千餘名汽車の開通を觀んとて停車場附近に蝟集し頗る盛況を極めたり

●選擧有權者の總數

八月十九日現在京城民團の議員選擧有權者は京城側に於て四千八百〇七名あり內官吏千七百九十九名にして三千〇八名は民間側の有權者なるが舊龍山民團側の分は本稿締切迄では未だ判明せざりしも約千二百名ある見込なりと

●江華島に海賊出沒

去る十三日午後六時頃海賊五名各自古銃及古刀を携帶す江華郡煤音島へ來襲し同島六統九戶農商業大外五名の家宅へ押入り現金二十六圓餘を强奪す尙は近々同島及同郡下道面洞里に於ける海上に於て五名の海賊現はれ衣類及金錢を强奪されたりと

●漢城高女校の移轉

從來京城光化門通りに在りし官立漢城高等女學校は豫て齋洞に新築中なりし同校舍此の程落成したるを以て十八日午前新築校舍に移轉せり因に同校舍は同日元警視廳內に在りし警務總監部衛生會に引移りたり

●韓人間島移住狀況

北韓の韓人が間島に移住する者は二三年毎年二万人內外ありて彼等は總べて永住の目的を以てし何れも農業に從事するも多くは淸國人の小作をなすに過ぎずと云ふ

●新龍線電鐵の延長

新龍山電鐵は今の處停車場附近を終點となし居れるも不日漢江岸迄延長すべき豫定なれば一般乘客は同終點地に待合所設置を希望さるゝも右の次第にて其運に及ばざる筈なりと

●電氣動力增設工事

瓦斯電氣會社に於ける麻浦發電增設工事は家屋全部は既に落成を告げ來月より機關据付に着手十月末より運轉の筈なるが五百キロの增加にして竣工の上は一千百廿キロの發電を得べしと

公人私人

▲篠田顧治郞(東亞煙草平壤支店主任)十八日平壤行

▲石井幸一(英米煙草仁川支店主任)十八日仁川行

▲井上德太郞(陸軍主計)十八日平壤行

▲疊丸勝二(東京高等工業學校敎授)十八日平壤行

▲井上元成(憲兵大尉)十八日開城より入京山本旅館に投宿

▲龍山雜信▼

▲韓線管理局への電報に依れば東海道は全通せしも濱松以東に於て修理を要する個所多數ありて各列車徐行する爲め直行列車は新橋驛時刻約五時間遲延すべし下の關發新橋直行列車は中斷せずと

▲龍山に於ては既に三五の赤痢患者を出したるを以て警察及民團にては過日來市民を督勵して大淸潔法を施行し居れるが殊に民團出張所に於ては一二の吏員を所內に殘して執務に差支へ無き樣の處置を取り他は孰れも汗と塵と石灰とに塗みれて熱心に淸潔法の監督に從事し居れり吾等は假し少々位の事務の澁滯は是非なしとして同出張の今に方りてキビ〳〵しき措置を贊賞す

▲龍山新舊市街を連絡する電鐵の敷設は市民の一般に翹望する處なるが聞く處に依れば龍山橋通の地下鐵は到底鐵道を敷設する能はざる由にて他には相當の道路無き爲め當分は敷設の運に至らざるべしと殘念ながら先づ〳〵諦めものならん

▲京城手形交換高▼

八月	金高	枚數
十九日	六五、六六四、一六	二六七

▲浴外漫錄▼

內地の水害は大したもので 陛下に於かせられても御軫念あらせらるゝとの事だ、在韓殊に京城移住の同胞などはイツモ天災を知らず、不景氣不景氣と云つたところで水災の被害者などに比すると結構なものだ▲同業京城日報が其有力な位置を以て率先して水害者救恤義捐金の募集を始めたのは奇特な事だ、慈善は人の爲ならず、此意義を解して一般公衆が義捐金を出さんことは記者の切に望むところだ▲京城の公設墓地問題はドウなつたか、民團當局者が浮世の雜事にばかり奔走して墓地問題の樣な大切な事を忘れて居ては困まる、見よ鎭南浦では原田新民長が就職第一着に公設墓地を作つたではないか▲聞く京城目下の日本式の墓地を有するは阿川と藤井兩家のみだソウだ、自分や家族の埋葬地をも持たぬ五萬の京城人が何で永住移民だ▲生身を抱へて墓地問題に冷淡せず、亦死後の事をも考へぬ樣な人達はツマリ無責任であるのだ、コンナ人達には信用は置けぬ、銀行者は宜敷警戒すべしだ▲尹澤榮の債務に關し邦人の高利貸が曲事を働いた形跡があるとの事だ、イツもながら高利貸には困まつたものだ▲龍山側では來らんとする民團議員選擧に連名當選運動をやると云ふ事だがアマリ大人氣ない話だ、民團はイマに無くなるヂヤアないか。

●複線運轉の開始期

既報京釜線複線運轉開始期は既に萬般の [illegible] 線に因る運轉の增加は京龍線目下一日の往復三百七十九回新龍山線九十六回 [illegible] 頗を去 由付は南大門驛を除く各區は 待合の時間を除けば乘客の便は甚し至 [illegible]

●複線運轉の開始期
既報京釜線複線運轉開始期は既に[illegible]線に因る運轉の増加は京義線目下一日の往復三百七十九回新義州線九十六回[illegible]貨は南大門驛を除く各區は待合の時間を除けば乘客の便は益し至[illegible]たるが[illegible]現京義間九分毎發車は五分に短縮さる[illegible]のみならず新義線は往復共乘換への[illegible]驛を改築し直に客車を開通すべし[illegible]



佛頂面より笑顔
▽煎豆と人間の比較

此の頃帝國大學を初め各專門學校の卒業生の賣口が非常に惡い相で些々たる文學士や法學士で三十圓か四十圓の月給にも有り附けず[illegible]先輩の紹介状を折鞄に詰め込んで縱横無盡に驅け回つた結局拔け切つて下宿屋の天井板に溜息を吹き掛けて居られるのが隨分ある相で御當人には氣の毒だが詮方がない之から就職難を喞つよりは何故郷へ歸つて父祖の業を襲がないのかしらと他人の考へで[illegible]又夫れ相當の考へもあることだらうから夫れはマア夫れとして[illegible]學問の有難味はないのだと思ひます、夫れもマア夫れとして[illegible]鎌田先生[illegible]煎豆[illegible]撰擇法[illegible]判斷識別[illegible]人間を仕入れに來る[illegible]同手段[illegible]の注文は一向來ない。其のよい人と云ふ[illegible]學問、身体、品行と三拍子揃つたのを欲しがる。併し乍ら大体に於て健全な人物が數人あ[illegible]中の言語動作、風采[illegible]で成るべく善い方の[illegible]皮肉に云へば佛頂面[illegible]よい方が賣れる、同[illegible]い方が先きにはける、人間も煎豆[illegible]いや味のな[illegible]のだ、勿論實地の[illegible]無いでもないが、併し[illegible]あるに相違ない」と面白いと思ひます(むの字)

朝鮮海上の夜嵐
▽連絡船の婦人乘客を辱しむ

[illegible]井上ふさ(三[illegible])及び南[illegible]山所渡邊節次方滯在吉[illegible]右は社外船鷹取丸の三等運轉士當時兵庫西出町[illegible](丸)を相手取り強姦の[illegible]判所に提起せしより鷹[illegible]取調中なりしが遂に[illegible]の理由の下に十五日[illegible]を出で大連に向ふべく[illegible]前記さきが去[illegible]鷹取丸の一等船客とし[illegible]告訴事[illegible]仁川港に碇泊中[illegible]の餘り一等室に[illegible]となり居りしところ[illegible]しき男入り來りて燈火を消し室内[illegible]するにぞさきは驚き[illegible]身體綿の如く疲れ居り[illegible]抵抗力を失ひ居れるよ[illegible]揚げて救ひを求めしも扉[illegible]るために遂ひに拭ふべからざる凌辱を受け[illegible]手段にて別の若き男のた[illegible]ふさの方は廿日午[illegible]附近航海中朝鮮紙幣と[illegible]者をボーイに依頼せしを[illegible]が兩替し遣らんとふさ[illegible]込み前記と同手段[illegible]女ながらも力强きふさは必死に抵抗せしため危き難を免れたるも同人は從來朝鮮大連等を航海する際屢々斯る災難に遭遇せしやにて今後彼地へ渡航する婦人の不安を除かんため更に控訴する筈なりといへり

鐵道當局の不埒
▽人間は犬にあらず
▽其の辯明を期待す

一昨十八日夜南大門驛龍山驛間靑坡町前方中間の鐵道線内に轢死者ありたる事を午後九時三十分南大門着仁川發列車第六十五號の機關手が發見し南部署に急報せしより同署よりは警官並に醫師現場に出張し檢視せしに轢死者は年齡二十四五位の韓人にして列車に壓せられ腦漿露出し兩眼球共飛散し下顎骨折れ左右兩足膝關節より轢切れ右足は僅かに皮膚に依りて胴体と接續し居るのみ其他背部腕部等に數ケ所の大小擦過傷あり現場は鮮血淋漓皮肉所々に飛散し實に悲慘なる轢死を遂げたるが其の原因は不明なるも創傷の模樣及其冠り居りしと認め得らるゝ帽子は約十五間位も離れ其の帽子に何等損所なき點なきより想像するに死者は初めより死を決し豫め帽子を脱し軌道内に横臥し列車の來るを待ち轢死したるものゝ如しと而して着衣風采等より見るも中流以上の人物なりと云ふ然るにても吾人の怪疑に堪ねざるは之れを轢殺したる列車なきことゝなり一小木片を轢過するも尚は且つ知るに難からざる乘込當事者が車輪に人間の觸れたるを知らざるの理なし而るに當事者は責任を免るゝ爲めに之れを知らずと云ひ鐵道當局は又之れを認む暴戻言語に絶するを覺ふ

南部署の大活動
▽酌婦蝎甫四十八名の檢擧

南部警察署に於ては十八日夜非番巡査三十餘名を臨時召集し和服にて各料理屋飲食店の附近を徘徊せしめ强ひて遊興を勸誘する者或は不體裁なる風體を爲し及び酌婦仲居の屋外に醜体を演ずる者等日韓人四十八名を檢擧引致し目下取調中なるが夫々相當の處罰を加ふる由にて尙ほ續々檢擧する筈なりとか

今般檢擧せられたる者左の如し
山口縣生れ南大門通り三丁目開月樓圓太ども(二〇)▲長崎縣生れ長谷川町二丁目壽亭石田みつき(十七)大石しの(十八)本村しゑ(十八)佐藤しや(十八)▲廣島縣生れ長谷川町一丁目濱の屋森崎よし(二三)▲山口縣生れ旭町一丁目實來家白石つや(二七)福岡縣生れ旭町一丁目實來家河野のぶ(二三)同大西まき(十九)▲福岡生れ中の新地常盤樓高倉くん(二五)▲山口縣人長谷川一丁目濱の屋畠山くに(十九)▲長崎縣生れ北米倉町遊樂樓橋本きさ(十九)▲愛知縣生れ北米倉町長榮廣田ふじ(二三)▲愛媛縣生長谷川町だるま杉本かやゑ(二三)▲島根縣生れ太平町かしく樓吉田てよ(十九)▲岡山縣生れ長谷川町二丁目玉川樓森上よね(十八)▲長崎縣人中之新地玉の江鶴岡つや(二三)▲神奈川縣人中之新地た多福小谷やす(二九)▲東京市生中之新地井筒樓岩田きし(二八)▲島根縣人中之新地梅の家日下さわ(二二)▲石川縣人北米倉町福の屋水株千代(十五)同營業主酒井茂一同水株はつゑ▲島根縣人中の新地梅の家前田つた(二三)▲大和町一丁目安藤たね方鹿兒島縣人永吉みつ(二七)▲福岡縣人旭町二丁目一二三亭平井かめ(二一)島根縣人永樂町一丁目壽亭立脇いと(十九)長崎縣人右同今村もと(十七)同大坂市人右同遠山すぎ(二三)▲大分縣人長谷川町一丁目喜樂亭濱田ゆき(十九)以上日本人三十八人此の外韓人カルボー十五人客引三人なりと

惡代書人の拘引
▽猶續々檢擧されん

多少訴訟能力を有する者にして法學士とか明法學士とか自稱し或は辯護士の看板を借り或は自身に辯護士の如く吹聽し居れるもの多く爲めに當該官廳は訴訟審理上意外の手數を煩す事は勿論韓人の如きも之れに詐かれ困却する者多數なるも彼等羽織破落漢連は巧妙なる手段を弄し居る事とて法網を免れ居れるが茲に大坂府平民當時長谷川町一丁目四十二番戸代書人藤野富郎(三六)と云ふは明法學士の肩書を有し自ら辯護士と稱し韓人相手の所謂羽織破落漢なるが明治四十二年一月中韓人金明根なる者より李秉賀に對する貸金四百餘圓の取立を依頼せられ京城地方裁判所に出訴の結果債權者李と示談の上三回に支拂ひを受くる事となり最初三十五圓を受領し之を擅に費消し尙ほ李が一回も支拂を爲さずとして同年十一月中に通譯並に日本人勞働者を率ひ李方に至り衣類雜品等三百餘圓に相當する物を差押へ自宅に運搬し之を賣却し費消し乍ら依頼者金明根には何等通知をも爲さず胡魔化し居りたるを南部署刑事の探知する所となり昨十九日南部署にて拘引狀を執行され檢事局に送れたり

●花代の不法利得　仁川花町一丁目雁口宗平は一昨夜京町二丁目朝日亭長濱とま方に登樓し茶菓子と廿錢の約束にて喰ひさて代金を支拂ひて立出でんとしたるに酌婦の上原せきが其席に侍りたりとて五十錢の花代を强請したるが藝者ですら七十二錢では高いと評判ある今日何條默止して之を支拂ふべき拂はぬとの一點張りなりしも袖を曳きて無理に拂はしめたりとの由を其筋に訴へ出でしかば警官同家に出張の上右さまを説諭し五十錢を取上げて事濟みたり

●氣の知れぬ泥棒　仁川花町二丁目居住の妻岸福松方に一昨日午後九時頃一名の賊忍入り衣類十四點を窃取したる者ある旨屆出でに接し警官は時を移さず現場に出張して取調べたるに現品は同家便所の裏手に投棄しあるを發見したりと

●韓人の毒藥自殺　龍山坊靑坡上四契五十九統十戸李景實(四七)は六百餘圓の負債を有し返濟の途なく遂に去る十八日午前十時頃毒藥を服用し自殺したるより此の急報に接し西部署より久保田部長並に醫師現場に出張檢視を終り死体は妻李姓女に引渡したりと

●短氣な石工さん　漢江通り百三十番戸石工職藤田林五郎(四〇)は一昨夜十時頃靑坡町一樂亭に藝妓を招きに行きしに居られぬと斷られ立腹して同家の硝子戸を打ち破し亂暴を働き西部署に引致され覺醒の上硝子代を支拂ひ事濟

●横領犯人の處刑　福井縣今立郡北中山村字川島十八番戸當時太平町一丁目水野仙穗(三六)が横領罪にて南部署に檢擧せられし事は既報の通りなるが爾來京城地方裁判所に於て審理中の所十九日懲役六ケ月に處せらる

●赤痢患者の頻發　西大門外和泉町五十八番戸柳町壽男は昨十九日より赤痢病に罹り大韓醫院に入院せり

●淨土宗青年會　同會第十五回講演會八月二十日午後八時より明治町同宗開教院にて開催左の講演あり
佛教倫理　水谷開教使
實業と修養　隈本有尚君

目と耳

▲壽座　合同劇二十日の代り狂言は新派「大成功入場」喜劇「赤子茶屋三場」明治六十年「未來の藝妓」
▲浪花館　廣八一座二十日代り番組御祝儀寶の入船(入登)信仰記上かやの段(廣吉)先代萩竹の間の段(越濱)梅由兵衛聚樂町の段(此重)日吉丸小牧山城中の段(此千代)三十三所壺阪寺の段(仙春)菅原四つ目(隅照)先代萩御殿場(越春)阿波鳴門順禮歌の段(廣八)大切れてま才三白木屋の段(總掛合　三昧線(豊澤仙平)

●樂友會の大會番組
▽井上千代子女史惜別會
既報京城樂友會の井上千代子女史送別琵琶大會は愈々八月廿、廿一の兩日京城歌舞伎座に於て開催することゝなり其番組左の如し尙開會時刻は午後六時三十分よりにて入場劵は當日同座前にても發賣すと云ふ
第一日(開會の辭)一白虎隊(難波)一海洋島(清風)一昔發(井上千代子)一川中島(三善嶺峰)一粟津ヶ原(東司照子)一明智湖水渡(井上麗曉)一臺灣入(井上千代子)外樂友會有志出演數番△第二日(開會の辭)一赤垣源藏(難波)一曾我夜討(清風)一扇之的(井上千代子)一鹽馬之瀧(三善松聲)一敎盛(東司照子)一廣瀨中佐(井上麗曉)大田道灌(井上千代子)外樂友會有志出演數番

●木下大盛堂藥局　今回本町五丁目に開店せし同堂は消快丸の擴張並に有名賣藥、純良藥品、調劑等尤も正確に業務の取扱をなす顧客日に増し極て隆盛を極め居れり又消快丸は常備藥中最も信用ある良劑の一として世既に定評あり

平民文壇

▲或る雜誌に下の如き事が書いてあつた▲韓國衛生顧問山根正次が此の間平壤を視察に出かけて唯ある穀物屋に堆く盛られたものは悉くみな黑豆ばかり▲君はなんだ此所では黑豆許を商ふのかと聞くと案内の者が笑ひをころしてステッキをもつて其の黑いものの上を拂つた蠅がもう／＼と飛び立つた、すると其の下から白米が面を出した▲君は驚きの眼を睜つて衛生思想の普及は中々の事業であると嗟嘆一番したさうである▲とあるが果して事實であれば白蠅と黑豆との識別も附き難ねる程の恐入さなる譯だが豈夫れ程でもあるまい▲例の醫學生の押し附け方法を企む程の先生だ洒落を本氣に取られては迷惑だらう▲神吉君や奥貫君が聞いたら泣くよ(風聞子)▲日本本洲では水害に弱り切つて居ると四國の伊豫温泉郡久米村の岸、南土居の兩部落では用水欠乏から大騷動で死人まで出した相だ世は樣々なものだ(天災子)▲ナニ君は福岡縣は何處かと云ふ串戲を云へば福岡縣だつて、僕も福岡縣だと云つて直方だと答へると直方は何方かと又尋ねるモウ分らないが出鱈目に上町だと云へば何に『上町』とクス／＼笑ふ焉んぞ知らん上町とは直方の貧民窟であるのだ(總角生)▲近隣生の投書は阪上藤助さんの妻君が氷を七八廻飮んで流行病に侵されて何んとか彼んとか云ふのだが判らんから沒とする(係)▲今年は寒さが烈しい如だ米の出來が案じられますよ　田舍者▲御同感です(小僧)▲十七日の夜太平町長谷川町邊の酌婦が七八人密行巡査に捉つて南部署へ連行せられた原因は往來に出て居たからだ(通行人)▲西小門通りの管醫院では[illegible]

澤山朝顔を作つて御座る中には立派な大輪ものがある一鉢欲しいのがあつた(花好)▲然う云へば先日一鉢失くなつたと云つて居た怪しいぞ……は嘘だが買ひ給へ呉れなかつたらソッと行るさ……花盜人は風流なもんさ、と云つたら誰れかゞ叱つて來るだらう(小僧)▲一流の料理店が盛んに新築工事を行つて居るが出來上る時分には氣の毒だが宴會なぞが尠くなる(泣面に蜂)▲此の頃醫院の景氣を聞くと大好景氣だ夫れで何んな患者が多いかと聞くと恐るべし腦加答兒が一番多いと▲而して此れはモウ二三日經つと赤痢に變症する質のものだ相だ▲諸君も眼でも痛む際は直ぐ漆醫師の診察を受け玉へ(風聞子)

今日の運勢

八月廿日　舊七月十五日　四綠先負下弦　巳納△一白金曜　屬の業務に吉訴訟葛藤の端起り易し△二黑　妄言に罹り易し賣買取引貸借に注意すべし新事見合せの事△三碧　尤も注意すべし旅行新事旅行轉住婚談等圖結社凶音信異事を報ずるあり△四綠　紛れ易き日なり婚談賣買不動産人の事注意[illegible]△五黃　盜害紛爭を戒しむ新事旅行見合せの事建築動土に吉△六白　障害多し新事見合せの事面接會見委囑に吉△七赤　紛爭酒色を戒飭す新事見合せ負傷防ぐべし△八白　盜害横領防ぐべし尙療病衛生注意すべし新事見合せの事△九紫　增益の日大抵吉證券抑鬱の故障起り易し(三一館判斷)

●天氣豫報　自十九日午後六時至二十日午後六時
東風　曇
十八日(攀氏)最高溫度　八三、一　最低溫度　六二、一

滋養大関



大阪道修町二丁目
本舖 小西久兵衛
價一圓五十錢 中瓶金九十錢 小瓶金五十錢

一 鴨綠江松材現木
長サ八尺五寸以上二間半
一尺五寸角以上二尺迄
右木材多數所有致し居候に付特別安價に賣却仕候間御望の方は御來談被下度願上候
京城旭町三丁目(電話五六八番)
建築業 柴田芝六

表具部開業
襖額屏風天井壁張及表裝一切並書畫の需用に應す
旭町三丁目三日月湯隣
柴田表具部
主任 網島久雄
眞光小太郎
(電話五六八)

夏の和樂園
御料理 席貸
高田家
電九三七
不相變御引立之程乞

御料理
京城旭町一丁目 公園下
松葉庵
電話一三九一番

此時ヘルプを用ひて効力絶大

● 昨今の苦熱に、何人も、知らず〳〵飲食節度を失し、居常放漫に流れて、腸胃の機能を傷ふ時
故にヘルプを用ひよ
● ヘルプは單に下痢症に偉大の効力を有するのみならず、暑さあたり、寢冷、腹痛、食傷等一切
腸胃の障害を驅除し
惡疫を絶對に防止す
● 赤痢、窒扶斯、虎列刺、等の流行は下痢病の放置と腸胃の養生を怠るに、起因す



ヘルプ効能
◎痢病◎腸加答兒◎時候あたり◎寢冷◎腹痛◎水あたり◎食傷◎吐瀉等
一切の下痢を止め腸胃を整へ惡疫防止す



ヘルプ本舖 東京日本橋本銀町三丁目 振替東京八六四番 津村敬天堂
代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房

和洋金物商
鎮南浦西三丁目
釘本鎮南浦支店
電話六三番
韓國京城本町五丁目
釘本藤次郎本店
長距離電話四五番 (信略ク號) 振替貯金口座韓國(二五六)
京城南大門外蓬萊町
釘本鐵工所
電話二三四番

英國製
輸入新荷着
ライト號
附屬品付
正確 價七十圓
◉車體堅牢にして優美紳士用實用に適す
歐米各國自轉車直輸入商 京城本町二丁目
織居商店自轉車部
電話四百八十番

資本金五百萬圓
神戸海上運送火災保險株式會社
出張所 京城明治町一丁目
(電話一五四九)

韓國銀行
當銀行は韓國中央金庫並に日本金庫事務の外預金貸金爲替等普通銀行の業務を精々確實親切に取扱申候
支店出張所 仁川、平壤、元山、大邱、鎭南浦、木浦、釜山、群山、馬山、城津、羅南、安東縣、新義州
爲替取引先
日本 東京、京都、大阪、橫濱、神戸、名古屋、四日市、下關、兵庫、伏見、東京新大阪町、大阪西區、松山、廣島、長崎
韓國 公州、光州、晋州、全州、開城、海州、沙利院、博川、寧邊、義州、咸興
淸國 大連、遼陽、旅順口、奉天、鐵嶺、長春、牛莊、天津、北京、漢口、上海
其他外國 香港、桑港、紐育、龍動、巴里、里昂

本店開業拾五ヶ年
弊堂開業後爾來十五年今日の隆盛は全く各位御愛顧の賜ものに外ならずと確信仕候に就ては此際祝意を表すると共に平素の御愛顧に酬ひんが爲め且つ一層販路擴張の目的にて「タバン」懷中時計三千個及び「アンソニヤ」掛置時計三百個を限り四月一日より九月三十日迄本社の命に依り何方樣へも卸直段にて販賣すること相成從つて各位の御便利を計り左記特約店を設置致候間最寄りの店にて續々御購求の程願上度此段廣告候也 敬白
瑞西タバン懷中時計會社韓國代理店
米國ウオルサム時計韓國代理店
米國アンソニヤ掛時計韓國特約販賣店
携帶電燈各種特約販賣店
時計卸商 仁川本町三丁目(電話七〇五番) 喜多金光堂本店
時計卸小賣 京城本町二丁目(電話一〇二五番) 喜多金光堂支店
右特約店 京城本町一丁目憲兵分遣所前(電話一三八番) 金化堂時計舖
各地方より御注文は發送實費申受候

食道樂
新に堪能の料理人を入れ調理の面目を新にし季節々々の粋を凝らしたる目新らしき所を御試めし願上候
壽司、うなぎ、アイスクリームも同樣御高評願上候
壽町二丁目
電話九百四十四地

關戸蚊帳株式會社韓國代理店
吳服太物 洋反蒲團調進
京城明治町一丁目
唐川商店
電話二六一番
新案特許製綿韓國一手特約店

無比勉強
かやわた

東京足袋

本店東京
京城大和町一丁目(日の出橋際)
大和屋
藤井出張店
電話二百〇五番
明治町勸商場内ニモ出張店アリ

正札付大安賣厘毛引なし安心して買へ升

諸官衙御用
營業科目
和洋紙類 印刷附屬品 印刷インキ 和洋帳簿 防腐アシン 殺物食鹽 諸染料類
發賣所
東京ランバーゾ商會代理店
東京中外アスファルト株式會社代理店
東京千代田生命保險相互會社代理店
東京博文館發行書籍特約店
東京金港堂發行書籍特約店
(伊)自國商會(伊)特約
藤田合名會社
本社 京城明治町二丁目(電話二三〇番)
出張所 東京十番地 京電橋新 南橋三 鍋町一丁目 二六九

御待合
南大門通三丁目光宣門側
紅葉
電話一三八二番

時約販賣自製
大上商店
味噌醬油製造元 漬物問屋
京城本町五丁目
和洋酒、◯精酢、穀物麺類、銘茶、鑵詰、乾物食料雜貨、ビール、米糀、鹽辛、日本食鹽、荒物各種特約販賣尙御望に依り商品切手調進
(電話二五一番)

印章彫刻 ゴム印彫刻
京城本町四丁目
赤帽子號印舖
電話九三番
諸官衙御用達
奥野岩太郎

明治廿六年七月創立
東京火災 海上運送保險株式會社
資本金一千萬圓
●事務所 京城南大門通二 電話一〇六〇番
京城代辨店 本町四山口呉服店電話九番

統監府及諸官衙御用
荷物運搬 引越荷物受負
伊藤組
電話四〇番 本町三
電話七三二番 南大門驛
電話九四八番 大和町
電話一六〇八番 同第二

★ 株式會社百三十銀行京城支店
電話五十八番 振替貯金韓國一一三番
資本金五百萬圓
頭取 安田善三郎
爲替取組先
畿内 大阪、神戸、兵庫、京都、西陣、堺、伏見、郡山、奈良、八木、田原本、高田、貝塚、岸和田、下市、茨木、平野、住吉、御影
東海道 東京、橫濱、大磯、靜岡、中府、津、岡崎、濱松、宇田、桑名、名古屋、熱田、四日市、山田、松阪、千葉
東山道 彦根、大津、長濱、多治見、大垣、岐阜、中津、宇都宮、高崎、伊勢崎、前橋、桐生、福島、酒田、能代、土崎、青森、仙台
北陸道 小濱、敦賀、福井、鯖江、大聖寺、金澤、高岡、富山、伏木、新湊
山陰道 宮津、舞鶴、新舞鶴、豐岡、鳥取、米子、境、松江、久手、大田
山陽道 姬路、龍野、網干、岩見、西大寺、岡山、味野、牛窓、玉島、笠岡、福山、倉敷、高梁、尾の道、三原、廣島、呉、小郡、岩國、柳井、平生、防府、山口、德山、萩、長府、小月、下之關
南海道 和歌山、田邊、御坊、新宮、尾鷲、串本、高松、坂出、豐濱、川之石、今治、西條、松山、三津ヶ濱、州本、八幡濱、宇和島、高知、德島、撫養
西海道 門司、福岡、博多、直方、飯塚、佐伯、大分、別府、臼杵、長洲、長崎、佐世保、唐津、佐賀、若津、牛津、伊萬里、久留米、熊本、鹿兒島、坪井、宮崎
北海道 小樽、函館、
台灣 臺北、臺南、
樺太 大泊、
韓國 仁川、釜山、平壤、鎭南浦、元山、群山、木浦、義州、晋州、馬山、會寧、州、大邱
銀行一般の業務精々便利取扱可申候

入院隨意
京城壽町三丁目(電話三七八番)
中島醫院
院主醫學得業士 中島貞信



銀行一般業務精々御便利に取扱可申候
資本金參百萬圓
積立及繰越金九拾六萬圓
京城南大門通
株式會社十八銀行京城支店
(電話四二〇)
本店 長崎市築町
支店 京城、龍山、仁川、木浦、釜山、元山、群山、晋州
出張所 大阪、熊本、佐世保、嚴原、五島、壹岐
韓國日本其他韓國樞要地、及露領浦鹽に爲替取引先あり
貯蓄預金(利息日歩壹錢二厘)
一口壹錢以上何程にても御預り申候
長崎貯蓄銀行代理店
(十八銀行京城支店)